

新型コロナウイルス感染症への対応について(知事コメント)

新型コロナウイルスの急速な蔓延をうけて、国においては、4月7日、大阪府を含む七都府県を対象地域とした「緊急事態宣言」を発令しました。さらに近隣県においても、愛知県では、直近の感染者数の急増に加え、感染経路が判明しない件数も増えており、岐阜県では、直近1週間の増加数が前の週と比べ2.5倍に増加し、新たなクラスターが判明するなど、三重県の周辺における状況が急変しています。近隣県で緊張度を高める取組が進められている中、本県においても近隣県の取組の効果が最大限発揮されるよう、これまでの取組を一層強化しなければなりません。

県内においては、感染経路が不明な事例はないものの、感染が継続し、今まで発生していなかった地域へも拡大しています。愛知県とは1日約5万人、大阪府とは1日約7千人の通勤をはじめとした人の移動や、県内の発生状況を総合的に考えると、三重県における感染リスクは従来とは異なる状況になったと判断せざるを得ないと考えています。

これまで、子どもたちの安全を第一に考えながら、学びの継続との両立について、慎重に検討し、対応してきましたが、今回の、これまでとは異なる次元の感染リスクの高まりを受け、子どもたちの命と健康を最優先に考えて、全ての県立学校について、4月15日から5月6日まで、県立学校を一斉休業することとしました。

なお、各学校の新学期の開始直後に再び臨時休業を行うことや、保護者が少しでも準備できる期間を設ける必要があることなどを考慮し、13日と14日には、通学時も含めて感染対策を徹底したうえで登校することとし、休業期間中の過ごし方や学習方法などについて、学校から子どもたちへ丁寧に伝えます。

また、先の措置により休業としていた、四日市市、三重郡、鈴鹿市、津市の多くの県立学校では、13日に入学式を予定しています。子どもたちの節目としての入学式は、感染予防に最大限努めながら実施することとし、入

学後の支援についても、各学校においてさまざまな工夫をしながら、進めていきます。14日以降に入学式を予定している一部の特別支援学校においても、同様に入学式は実施します。

新しく入学する学校での生活を楽しみにしていた子どもたちや、久しぶりに友人とともに学ぶ喜びを感じていた子どもたちのことを考えますと、今回の決定は非常につらい判断ではありますが、子どもたちの期待に少しでも応えられるよう、県も学校と一体となって、休業中の支援を進めてまいります。

今回の休校措置は、長期に及ぶことから、児童生徒の学習内容を担保するために、あらゆる工夫をしなければなりません。自宅での学習を進めるための支援だけでなく、例えば学年単位の分散登校なども実施する予定です。また、ICTを効果的に用いたオンライン教育も早急に検討します。

保護者の皆さまにも、突然のお知らせとなりますが、かけがえのない子どもたちを守るためにも、ご理解とご協力をお願いいたします。

先の措置の時と同様に、引き続き個別に学校での支援も継続いたします。また、社会全体で子どもたちや保護者の皆さまを支えるよう、これまで、さまざまな制度を整えてまいりましたが、その制度がしっかりと皆さまに行き届くように、県としても、子どもたちやご家庭を支援するネットワークとの連携を強化しながら、ご家庭にしわ寄せがいかないように取り組んでまいります。

学校やご家庭だけでなく、地域の皆さまも、さまざまな場面で、子どもたちを見守っていただきますようお願いいたします。

県民の皆さまには、大切な子どもたちの命と健康を守り抜いていくという、強い決意を、共に持っていただき、「オール三重」でこの事態を乗り越えることに、どうぞご理解とご協力をお願いいたします。

令和2年4月10日
三重県知事 鈴木 英敬